

(関係条文等抜粋)

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例（平成13年岩手県条例第71号。以下「条例」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

第2条～第7条【省略】

(騒音発生施設)

第8条 条例第2条第11号の規則で定める施設は、別表第4の中欄に掲げる施設であって、その規模がそれぞれ同表の右欄に該当するものとする。

第9条～第11条【省略】

(氏名の変更等の届出)

第12条 条例第14条（条例第22条第1項、第28条の2及び第40条において準用する場合を含む。）の規定による届出は、条例第9条第1項第1号又は第2号、第18条第1項第1号又は第2号、第24条第1号又は第2号及び第36条第1項第1号又は第2号に掲げる事項の変更に係る場合にあっては別に定める様式による氏名（名称、住所、所在地）変更届出書、施設の使用の廃止に係る場合にあっては別に定める様式によるばい煙発生施設（粉じん発生施設、汚水等排出施設、騒音発生施設）使用廃止届出書によってしなければならない。

(承継の届出)

第13条 条例第15条第3項（条例第22条第1項、第28条の2及び第40条において準用する場合を含む。）の規定による届出は、別に定める様式による承継届出書によってしなければならない。

第14条～第20条の6【省略】

(騒音発生施設の設置等の届出)

第21条 条例第36条第1項又は第37条第1項の規定による届出は、別に定める様式による騒音発生施設設置（使用）届出書によってしなければならない。

2 条例第36条第1項第5号の規則で定める事項は、次に掲げる事項とする。

- (1) 工場又は事業場の事業内容
- (2) 常時使用する従業員数
- (3) 騒音発生施設の型式及び公称能力
- (4) 騒音発生施設の種類ごとの通常の日における使用の開始及び終了の時刻

3 条例第36条第2項（条例第37条第2項及び第38条第2項において準用する場合を含む。）の規定により第1項の届出書に添付しなければならない書類は、騒音特定工場等及びその付近の見取図とする。

(騒音発生施設の数等の変更の届出)

第22条 条例第38条第1項の規定による届出は、条例第36条第1項第3号に掲げる事項の変更の届出にあっては別に定める様式による騒音発生施設の種類ごとの数変更届出書、条例第36条第1項第4号に掲げる事項の変更の届出にあっては別に定める様式による騒音の防止の方法変更届出書によってしなければならない。

2 条例第 36 条第 1 項第 3 号に掲げる事項の変更に係る届出書には、当該変更に係る騒音発生施設の種類ごとに前条第 2 項第 3 号及び第 4 号に掲げる事項を記載しなければならない。

3 条例第 38 条第 1 項ただし書に規定する規則で定める範囲は、条例第 36 条第 1 項、第 37 条第 1 項又は第 38 条第 1 項の規定による届出に係る騒音発生施設の種類ごとの数を減少する場合及びその数を当該騒音発生施設の種類のに係る直近の届出により届け出た数の 2 倍以内の数に増加する場合とする。

第 23 条～第 42 条【省略】

(工場等設置者)

第 43 条 条例第 90 条第 1 項の規則で定める者は、別表第 1、別表第 2、別表第 3 又は別表第 4 に掲げる施設を有する工場又は事業場を設置している者とする。

第 44 条・第 45 条【省略】

(提出書類の部数)

第 46 条 条例及びこの規則の規定により提出する届出書（第 41 条に規定するものを除く。）の提出部数は、正副 2 通とする。

附 則

1 この規則は、平成 14 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 25 条の規定は平成 16 年 4 月 1 日から、第 26 条から第 30 条（条例第 73 条第 3 項で準用する場合を除く。）までの規定は平成 15 年 10 月 1 日から施行する。

2・3【省略】

附 則【改正附則は、以下省略】

別表第 1～3【省略】

別表第 4（第 8 条、第 43 条関係）

騒音発生施設

番号	施設名	規模
1	金属加工用の施盤 (ベルト駆動式のものであること。)	すべてのもの
2	空気圧縮機及び送風機	原動機の定格出力が 3.75 キロワット以上 7.5 キロワット未満であること。
3	コンクリート製品製造用のコンクリートプラント	気泡コンクリートプラントを除き、混練機の混練容量が 0.45 立方メートル未満であること。
4	木材加工機械	
	(1) チッパー	原動機の定格出力が 2.25 キロワット未満であること。
	(2) 製材用帯のこ盤及び丸のこ盤	原動機の定格出力が 7.5 キロワット以上 15 キロワット未満であること。
	(3) 木工用の帯のこ盤及び丸のこ盤	原動機の定格出力が 1.5 キロワット以上 2.25 キロワット未満であること。

	(4) かな盤	原動機の定格出力が 1.5 キロワット以上 2.25 キロワット未満であること。
5	冷凍機	原動機の定格出力が 3.75 キロワット以上であること。
6	冷却塔	原動機の定格出力が 0.75 キロワット以上であること。
7	バーナー	燃料の消費能力が 1 時間当たり 50 リットル以上であること。

別表第 5 ～ 18 【省略】